



7月 26・27日 市制施行 60 周年記念 第 44 回高萩まつり

高萩市の夏の最大イベント「高萩まつり」が7月26日・27日の両日、高萩駅前通りで開かれました。華々しく飾り付けられた市内7地区の山車や神輿が集結し、お囃子の音色や勇壮な掛け声を響かせながら駅前を練り歩きました。26日には恒例の流し踊りコンテストが行われ、まつりの熱気も最高潮。大勢の観客が見守る中、正調部門と自由部門に25団体約800人が参加し、練習の成果を競いました。2日目には、高萩市キャラクター「はぎまる」のダンスが初披露され、観客も一緒に踊り、まつりを盛り上げました。



流し踊りコンテスト結果

○正調部門

- 第1位 いつまでも仲間と輝いていた「シャインズ」
- 第2位 高萩市文化交流会
- 第3位 JA 茨城ひたち高萩地区女性部
 - // 春日町まつり実行委員会
 - // ピイホヌア・モキハナ・フラグループ

○自由部門

- 話題賞 有明ハギッズ
- アイデア賞 いつまでも仲間と輝いていた「シャインズ」
- リズム賞 華水木鳴子会



流し踊り正調部門第1位の「いつまでも仲間と輝いていた「シャインズ」」



自由部門で話題賞を獲得した「有明ハギッズ」アニメ映画「アナと雪の女王」の世界観を踊りで表現しました。

浴衣コンテスト結果

- 粋で賞 吉田亜衣さん
- 着こなし賞 前野文音さん
- ファミリー賞 阿部悠さん親子

7月 30・31日 小学生 花貫川の源流を探検

市内の小学校5年生43人が花貫川の源流探検に挑戦しました。花貫川の河口から源流を目指しながら、川に生息する生き物を探することで水質を調べたり、花貫ダムの見学をするなど、川の生き物の生態や人と川との関わりについて楽しく学びました。途中の小滝沢キャンプ場には、青少年相談員協議会の皆さんが川の中に青竹のそうめん用樋を準備。児童たちは流れてくるそうめんを箸ですくっては歓声を上げていました。



7月 31日 高萩小 ガスコンロ寄贈受け 親子料理教室

高萩小学校で「親子ふれあい料理教室」が開かれました。この料理教室は、茨城県高圧ガス保安協会日立地方支部から、同校の家庭科室に設置するガスコンロ8基が寄贈されたのに伴い開催するもの。調理に取り掛かる前に村田純一支部長から小林正治校長へ目録が手渡されました。料理教室に参加したのは同校の児童と保護者9組19人。最新のガスコンロでパニッシュオムレツ、ミネストローネ、フルーツヨーグルトの3品を約1時間ほどで調理し試食を楽しみました。



参加した浅川凌君は「初めて野菜を切りました。楽しかった。家でもお手伝いしたい」と自分で作った料理を味わっていました。



8
1～3

埼玉の子どもたちが 高萩の自然を満喫



都会の子どもたちが親元を離れて高萩の自然を体験する「サマーチャレンジ in たかはぎ 2014」が催されました。埼玉県戸田市とさいたま市から小学5年生 20人が参加し、上君田の里山交流館に宿泊して海水浴や食用ほおずきの収穫などを楽しみました。子どもたちは、さいたま新都心駅をバスで出発。1日目は海水浴や流しソーメンなどを楽しみました。2日目は地元高萩市の小学生と一緒にヤマメのつかみ取りやバーベキュー。3日目にはトウモロコシのもぎ取りなど、都会では経験できない様々なプログラムを体験し、夏休みを楽しみました。

8
15

戦没者に誓う平和 戦没者追悼式

69回目の終戦の日を迎えた8月15日に、市主催の戦没者追悼式が総合福祉センターで開かれ、戦争で命を落とした先人をしのび、恒久平和への誓いを新たにしました。式には遺族や関係者約150人が参列。全員で黙とうを捧げた後、同時刻に行われた全国戦没者追悼式での天皇陛下のお言葉を拝聴し、小田木市長が「郷土高萩の発展は尊い犠牲とご遺族のご尽力によるもの。平和の大切さや戦争の悲惨さを後世に語り継がなければならない」と式辞を述べました。また、若者を代表して県立高萩清松高3年の齋藤裕樹さんと県立多賀高2年の須田美紗都さんが「私たちは、戦争を経験した方



から直接お話を聞ける最後の世代。平和の重要性を次の世代に繋いでいきたい」と平和への誓いを行いました。

フェイスブックで「まちの話題」を随時配信しています。市公式ホームページからご覧ください。

8
6

子どもたち 輪投げでお年寄りと交流

高齢者クラブ連合会主催の「第11回輪投げ大会三世代交流事業」が総合福祉センターで行われました。市内の高齢者クラブ18団体と放課後学童クラブに通う小学生が参加して交流を深めました。約150人の参加者は、児童の部、高齢者の団体、個人の3部門に分かれて輪投げに挑戦。子どもたちは慎重に輪を投げて見事に入ると歓声。お年寄りたちも「それ」「頑張れ」などと声を掛けながら、子どもたちの活躍に拍手を送っていました。児童の部で優勝した齋藤杏奈ちゃんは「楽しかった。また参加したい」と喜び、小森勇一会長は「子どもたちの笑顔は我々の元気の源。交流の機会がもっと増えればいい」と話していました。



長は「子どもたちの笑顔は我々の元気の源。交流の機会がもっと増えればいい」と話していました。

8
6

関東・全国大会の健闘誓う 高中・秋中卓球部

高萩中学校女子卓球部と秋山中学校男子卓球部の選手・顧問らが市役所を訪れ、県大会優勝と関東大会、全国大会での活躍を小田木市長に誓いました。両校は、7月に行われた県総合体育大会で男女それぞれの部で優勝。8月9日・10日に千葉ポートアリーナ(千葉市)で行われた関東大会では、高萩中学校が第3位、秋山中学校が第5位の成績を修め、全国大会(8月22～25日・徳島県鳴門大塚スポーツパーク)出場を決めました。高萩中学校のキャプテン北島里菜さんは「多くの人のおかげで出場できます。感謝の気持ちを忘れずに、全力を尽くしたい」、秋山中キャプテン久保田裕太君は「このチームで全国大会に出場できうれしい。支えてくれた方に恩返しをしたい」と話し、小田木市長が「市民全員で応援しています。ぜひ頑張ってきてほしい」と激励しました。

